

第3回小笠原航空路PI評価委員会 議事録

開催日時：平成22年5月21日（金）13:30

開催場所：都庁第一本庁舎33階南側 特別会議室S1

事務局

本日はお忙しいところ、お集まりいただきまして、ありがとうございます。私は本評価委員会の事務局を務めます東京都総務局参事（多摩島しょ振興担当）の高橋でございます。議事の中で委員長の選出が行われるまで進行を務めさせていただきます。開会に先立ちまして、本日は現地小笠原村より小笠原航空路協議会委員でもあります小笠原村長と小笠原村議会議長がお見えですので、ご挨拶をお願いしたいと思います。

森下 小笠原村長

ただいまご紹介にあずかりました小笠原村長の森下でございます。小笠原航空路の開設と言いますのは、昭和43年小笠原が返還になってからの村民の悲願となっております。かつて、第6次空港整備計画の予定計画の中に位置づけられたことはございましたが、残念ながら実現には至りません。そして、紆余曲折を経まして、東京都との間で航空路協議会を作ってくださいまして、進めていただいているところでございます。PI評価委員の皆さまにおかれましては、将来の実現に向けて適切に評価していただきたいと、思っております。どうぞ、よろしく願い申し上げます。

佐々木 小笠原村議会議長

小笠原村議会議長の佐々木でございます。住んでいるところが遠いところほど、幸せにならないといけなと、つくづく思っております。私も43年の返還依頼、小笠原につきまして、常に喜怒哀楽を持ちながら、民生の安定ということで、人も航空路を作らなければ、そこに戻ってこないというのが現状でございますので、是非とも航空路をお願いしたいと思っております。前回も都議団の視察が小笠原でありまして、その中で懇親会の席上、各島民の代表は航空路問題に関心を寄せていただいている、航空路を作ってほしいというのが、村民の願いであります。今世界遺産が非常に問題になっておりますけれども、やはりその席では、航空路、福祉、世界遺産という話が出てまいりましたけれども、その世界遺産が航空路のネックにならないように、一刻も早く、悲願であります航空路が実現できますように、先生方に側面からのご協力をお願いしたいと思います。

事務局

続きまして、航空路協議会の会長であります中田東京都総務局長から、ご挨拶をお願いしたいと思います。

中田会長

今ご紹介をしていただきました小笠原航空路協議会の会長を務めさせていただいております東京都総務局長の中田でございます。本日は委員の先生を始め、村の方もご出席いただきまして、誠にありがとうございます。先生方の貴重なご指導を踏まえながら、航空路協議会でP I活動を適切に進めていきたいと考えておりますので、ご指導、ご助言をお願いいたします。恐縮ですが、本日、急遽、所用がございまして、退席させていただきます。よろしくお願いいたします。

事務局

本日予定しております議事は、「委員長、委員長代理の選任について」及び「小笠原航空路協議会実施報告について」、「その他」でございますが、本日は新委員の方が初顔合わせとなりますので、新委員の方のご紹介をさせていただきます。恐縮ですが、一言ご挨拶をお願いいたします。廻洋子委員でございます。

廻委員

淑徳大学の廻と申します。よろしくお願いいたします。専門は実は観光でございますが、そんなところから国土交通省運輸審議委員会という交通政策審議会に入りました関係で、広く浅く航空あるいは道路、鉄道というのを、幅広く携わることになりましたので、少しでも皆様のお役に立てるように頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局

ありがとうございました。それでは、参考資料1「小笠原航空路協議会設置要綱」第6条にありますように、本評価委員会は協議会によって設置されております。そこで議事に先立ちまして、第2回小笠原航空路P I評価委員会の開催時からこれまでの経緯につきまして、総括的に行政部長より説明をお願いしたいと思います。

笠井行政部長

行政部長の笠井でございます。それでは、昨年5月の第2回小笠原P I評価委員会から今回までの間の小笠原を取り巻く情勢について、ご説明させていただきたいと思っております。小笠原諸島の自立的発展並びに生活の発展及び福祉の向上を引き続き図っていくことが必要として、平成21年3月に小笠原諸島振興開発特別措置法が改正・延長されたことを受け、国が定める小笠原諸島振興開発基本方針が同年6月に告示されました。東京都ではこれを受けまして、小笠原村から提出されました計画案を出来る限り反映させ、魅力ある小笠原らしいまちづくりの推進などによる観光振興、医療や教育の充実による定住環境の向上、本土との交通アクセス手段についての幅広い検討などの諸施策を展開するとして小笠原諸島振興開発計画を策定しました。この計画では、航空路の検討について、本土との交通アクセスの改善のため、自然環境との調和に十分配慮した航空路の将来の開設について幅広く検討を進め、また、自然環境への影響、費用対効果、運航採算性、安全性、最新の技術開発動向等について総合的に調査・検討を行い、P Iに反映させるとしております。今後とも評価委員の先生方のご協力をお願いしたいと思っております。

事務局

これより議事に入りたいと思います。なお、事前にお伝えしておりますように、プレスの写真撮りにつきましてはこれ以降ご遠慮していただきますようお願いいたします。それではまず、議事1の「委員長、委員長代理の選任について」でございます。参考資料2でございます「小笠原航空路PI評価委員会設置要綱」第7条第2項により、「委員長は、委員の互選により選任する」となっております。いかがでしょうか。

鍛冶委員

国交省の交通政策審議会委員や、同じく国交省の空港問題のいろいろな研究会の委員をなされている廻委員が行政手続き等について詳しいと思いますので、廻委員が適任だと思います。

事務局

ただいま、鍛冶委員からご推薦がございましたが、いかがでしょうか。

阿部委員

異議なし

事務局

ありがとうございます。異議がないようですので、廻委員が評価委員長に選任されました。

廻委員長

ご推薦いただきましたので、喜んでお引き受けいたします。PIに関わった時は、8年前に空港整備プロセス研究会がございまして、そこで2回くらい関わったことがありました。皆様のこの委員会の評価・助言を受けまして、小笠原航空路開設の検討に関しますPIの合意形成が適切に行われるべく、皆さんと一緒に努力したいと思いますので、ご協力方よろしく申し上げます。

事務局

なお、委員長の代理でございますが、評価委員会設置要綱第7条第3項によりますと、「委員長が職務を遂行できない場合は、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する」となっておりますので、ご指名をお願いいたします。

廻委員長

それでは恐縮ではございますが、阿部委員に委員長代理をお願いしたいと思います。いかがでございますか。

鍛冶委員

異議なし

阿部委員

委員長のご指名でございますので、引き続き務めさせていただきたいと思います。私もP Iにタッチしたことが今回始めてでございますが、航空に関係したことでございまして、少しでもお役に立てることがあると思います。今後ともよろしく申し上げます。

事務局

それでは、委員長ならびに委員長代理が選任されましたので、以後の議事の進行につきまして、委員長にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

廻委員長

それでは、「2 小笠原航空路協議会実施報告」につきまして、事務局からご説明よろしくお願いたします。

事務局

それでは説明いたします。お手元の参考資料3をご覧くださいと思います。第4回小笠原航空路協議会の実施報告でございます。この第4回小笠原航空路協議会は、昨年11月30日に開催いたしました。議事1といたしまして、昨年5月に開催されました第2回小笠原航空路P I評価委員会の実施報告を行いました。ここでは、第3回小笠原航空路協議会について実施報告を行ったのちに、小笠原航空路P I実施計画書(案)につきまして説明し、その他として小笠原諸島振興開発特別措置法の延長について5年間の法適用が決定された旨の報告をいたしました。次に議事2でございますが、航空路の検討状況について報告を行いました。ここでは、平成13年の時雨山周辺域での空港建設計画の撤回以降の航空路4案について概要の説明、及び洲崎地区気象海象調査内容の報告を行いました。ここで、航空路4案について簡単にご説明いたします。まず「硫黄島活用案」でございますが、既存施設の活用として硫黄島の自衛隊基地の滑走路を利用して、東京～硫黄島間をジェット機で結び、硫黄島で乗り継ぎ、硫黄島～父島間をヘリコプターで連絡する案でございます。火山活動による安全性の課題や防衛省等関係機関との滑走路共用化、民間施設整備に向けた調整が必要であると思っております。次の「水上航空機案」でございますが、二見湾内又は湾外に水上空港を設置しまして、水上飛行艇により東京～父島間を直行便で結ぶ案でございます。水上飛行艇の民間転用の開発等の課題がございます。次の「洲崎地区活用案」でございますが、父島の洲崎地区に空港を整備しまして、東京～父島間をプロペラ機により直行便で結ぶ案でございます。陸域、海域ともに自然環境への影響が考えられます。また、眺望の変化による観光への影響も考えられます。最後に、「聳島案」でございますが、聳島に空港を整備し、東京～聳島間をジェットで結び、聳島で乗り継いで、聳島～父島を高速船で連絡する案でございます。アホウドリの生育環境への影響も懸念され、また、最近、小笠原国立公園計画の変更や世界自然遺産登録に係る動きもございました。次に、洲崎地区気象海象調査内容について報告を行っております。洲崎地区周辺におけます滑走路配置案の検討及び環境影響シミュレーションの基礎データを収集するため観測を行っております。気象観測は、洲崎地区活用案におけます滑走路の配置案を検討するにあたり、就航に影響を及ぼす横風などを分析し、予想就

航率を算出する基礎データ収集のために行うものでございます。また、海象観測のうち波浪でございますが、水上航空機案の離着水の可否を判断し、就航率を算出するためのデータを収集するために実施するとともに、洲崎地区活用案を検討する際にも、構造物への影響を検討するにあたっての基礎データとして活用するものであります。次に議事3でございますが、小笠原国立公園の計画変更等について報告を行いました。昨年11月に環境省より新しい公園計画が告示されまして、乾性低木林等の典型的な生態系が残っている地域や固有希少種の生息・生育地などは、自然の改変に厳しい規制がかかる特別保護地区に地種区分が格上げされまして、規制が強化されました。また、一方では、外来植物の侵入により固有の自然が失われて、再生対策も当面困難な地域は、地種区分が格下げされ、現状に合わせた規制になったということでございます。続いて、世界自然遺産登録についてご報告しております。平成22年1月に推薦書の本提出を行いまして、現地視察を経て、平成23年の夏頃に登録の可否が決定される予定であります。最後までございますが、航空路4案のうち聳島案につきまして、公園計画が変更され聳島全域が特別保護地区に該当することになり、事実上、自然改変ができない状況であるので、航空路の検討を効率的に進めていく観点から、今後、検討からはずす旨事務局よりご提案を申し上げ、協議会で了解をいただいたところでございます。また、あわせて当PI評価委員会委員より辞任の申し出があったことから後任の委員の選任について検討を行っている旨のご連絡をいたしました。小笠原航空路協議会についての報告は以上でございます。

廻委員長

どうもありがとうございました。ただ今の説明について、何かお気づきの点とかはございますか。後日でも結構だと思いますので、事務局にご意見をお寄せいただくようお願いいたします。それでは、「議事3 その他」について事務局から連絡事項があるということですので、よろしくようお願いいたします。

事務局

それでは、今後の取組みについてご報告をいたします。先ほどの航空路3案につきましてご報告いたしました、「硫黄島活用案」につきましては、今後、軍民共用化等の可能性を関係省庁に確認するとともに、あわせて国に対し要請を行っておりますが、遺骨収集が早期に完了するよう関係方面に協力を強く要請していきたいと考えております。それから次の「水上航空機案」でございますが、自衛隊が運用を行っております救難飛行艇のUS-2が現在防衛機ということで詳細な機体のデータが明らかになっておりません。そのため、US-2のメーカーにもヒアリング等を行うなど、必要なデータの収集に努めてまいりたいと思っております。あわせて水上空港の設置基準や飛行艇の運用につきましても関係省庁等への確認を行ってまいりたいと思っております。また、防衛省では、現在防衛省が開発した航空機について民間転用の検討を行っております。この検討内容についても情報収集を行ってまいります。「洲崎地区活用案」でございますが、引き続き洲崎地区の環境への影響などの必要な調査を継続してまいりたいと考えております。続いて、最新の技術開発動向についてですが、小笠原諸島振興開発計画では、航空路の検討にあたりまして、自然環境との調和に十分配慮した航空路の将来の開設について幅広く検討を進めるとしてあります。最新の技術開発の動向につきましても導入の可能性がある機体等について随時

情報収集してまいりたいと考えております。これらの情報につきましては、協議会及び本P I評価委員会にご報告していきたいと思っております。以上でございます。

廻委員長

ありがとうございました。それではただ今の報告について、ご質問はございますか。

質問がないようでございますので、この際ですので、P I活動について何かご意見やご発言がございましたら、お願いいたします。

ないようでございますので、それでは事務局からの説明にもございましたが、これまでの経緯を考えますと航空路の将来の開設については幅広く検討を進める必要があると思います。したがって、小笠原航空路の開設における合意形成について適切に図られるように、本P I評価委員会といたしましても十分留意していきたいと考えておりますので、皆様よろしくお願いいたします。それでは、第3回小笠原航空路P I評価委員会を終了いたします。皆様ありがとうございました。